

BY APPOINTMENT TO
THE ROYAL DANISH COURT

CARL HANSEN & SØN

カール・ハンセン&サン イベント情報

国立新美術館 『リビング・モダニティ today』 ブース出展



写真：ヴィルヘルム・ラウリッツェン

カール・ハンセン&サンは、2025年3月19日（水） - 6月30日（月）に国立新美術館にて開催される『リビング・モダニティ 住まいの実験』の関連企画となる『リビング・モダニティ today』にブース出展いたします。

カール・ハンセン&サンは、デンマーク近代化の父と称され、デンマーク機能主義建築初期の傑作を数多く残したヴィルヘルム・ラウリッツェンが自身の建築のためにデザインし、これまではその建築を訪れた人しか体感することができなかった家具の製品化を近年すすめています。

「リビング・モダニティ today」展示ブースでは、カール・ハンセン&サンが製作するヴィルヘルム・ラウリッツェンがデザインした家具の全貌をご体感いただけます。

ラウリッツェンの家具デザインに見られるクラフトマンシップや素材へのこだわり、オーガニックで美しいシンプルなフォルム、そしてなにより家具を使う人への細やかな配慮は、デンマークモダン家具デザインが目指し、今も大切にしているフィロソフィーです。

また、展示ブースでは、デンマークモダン家具デザインの父と言われるコア・クリントの作品のみならず、彼のデザイン観のもと、第二次世界大戦後の市民のために、豊かな暮らしを支える家具デザインを追求したポーエ・モーエンセンによる作品や、ハンス J. ウェグナーの作品もあわせて展示します。本展示が、デンマークモダン家具デザインの主流ともいえるデザイン哲学に触れるきっかけとなれば幸いです。

リビング・モダニティへの挑戦はいまを生きるデザイナーによっても続けられています。

異素材をミックスすることで、機能的で軽やかなデザインを生み出し、デザインプロセスを詩になぞらえる3人のオーストリア人デザイナーによるデザインスタジオEOOS（イーオス）の作品や、オーガニックなフォルムの中で、「いまここに人が集い、会話することを促したい」と願うデンマーク人デザイナーリッケ・フロストによる作品も展示されます。これらが生み出す空間もまた、カール・ハンセン&サンが提唱する現代の住まい、暮らしの提案のひとつです。

『リビング・モダニティ today』

会場 国立新美術館企画展示室2E

カール・ハンセン&サンがブース出展する『リビング・モダニティ today』は、『リビング・モダニティ 住まいの実験』の関連イベントとして開催されるもので、どなたでも観覧無料でご覧いただけます。

『リビング・モダニティ 住まいの実験』と関わりの深い20世紀を代表する名作家具を数多く体感することができます。

参考情報：『リビング・モダニティ 住まいの実験 1920s-1970s』



会期 2025年3月19日（水）-6月30日（月）

休館日 毎週火曜日

※4月29日（火・祝）と5月6日（火・祝）は開館

※5月7日（水）は休館

開館時間 10:00-18:00

※毎週金・土曜日は20:00まで

※入場は閉館の30分前まで

会場 国立新美術館 企画展示室1E / 2E（東京・六本木）

美術館HP<https://www.nact.jp>

プレス関係のお問合せは下記までお願いいたします。

カール・ハンセン&サン ジャパン株式会社

Head of Marketing & Communications, Japan マーケティング・コミュニケーション部門責任者

阿部理歩 AYAHO ABE MAIL : ayab@carlhansen.jp

カール・ハンセン&サン ジャパン PR SUPPORT

株式会社ハウ MAIL : chs_pr@how-pr.co.jp TEL : 03-5414-6405